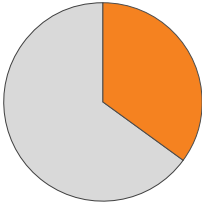
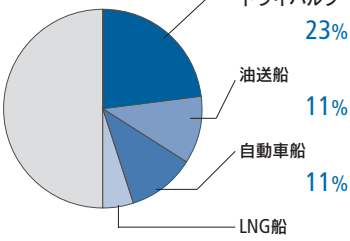
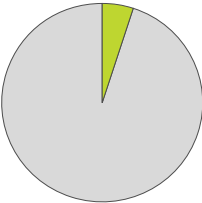
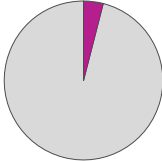
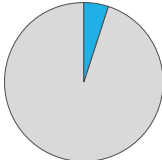
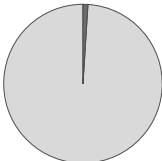


商船三井At a Glance

当社では、2005年3月期より、以下の新セグメントによって事業を推進しています。各事業の概要をご紹介します。

		売上高
コンテナ船事業		(億円) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #e67e22; padding: 10px; text-align: center;">3,450</div> <div style="background-color: #e67e22; padding: 10px; text-align: center;">3,700</div> </div> 04/03 (実績) 05/03 (見通し)
不定期専用船事業		(億円) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #2980b9; padding: 10px; text-align: center;">4,946</div> <div style="background-color: #2980b9; padding: 10px; text-align: center;">5,200</div> </div> 04/03 (実績) 05/03 (見通し)
ロジスティクス事業		(億円) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #90d974; padding: 10px; text-align: center;">529</div> <div style="background-color: #90d974; padding: 10px; text-align: center;">550</div> </div> 04/03 (実績) 05/03 (見通し)
フェリー・内航事業		(億円) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #9b59b6; padding: 10px; text-align: center;">421</div> <div style="background-color: #9b59b6; padding: 10px; text-align: center;">420</div> </div> 04/03 (実績) 05/03 (見通し)
関連事業		(億円) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #3498db; padding: 10px; text-align: center;">546</div> <div style="background-color: #3498db; padding: 10px; text-align: center;">550</div> </div> 04/03 (実績) 05/03 (見通し)
その他事業		(億円) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #7f7f7f; padding: 10px; text-align: center;">80</div> <div style="background-color: #7f7f7f; padding: 10px; text-align: center;">80</div> </div> 04/03 (実績) 05/03 (見通し)

(04/03実績はセグメント改編のため未監査)

事業概要	セグメント別売上高構成比
<p>当社は71隻のコンテナ船を擁し、米州、欧州、アジアをはじめ世界の主要航路で事業を展開しています。また、APL・現代商船と92隻のコンテナ船隊を誇るアライアンス (TNWA) を結成、世界のコンテナ船事業をリードしています。当社グループは、最新技術を駆使した情報システム構築や新造船の投入、継続的なコスト削減策などにより業務効率を大幅に高めるとともに、カスタマーサービスの質の向上に努めています。</p>	 <p>35%</p>
<p>当社は約280隻からなる世界最大のドライバルク船隊を擁し、鉄鉱石、原料炭、電力炭、木材チップ、穀物、その他撒積み貨物の輸送を行っています。自動車船では、65隻のコア船隊による最高品質のサービスを提供し、顧客の信頼を得て世界の自動車海上輸送の約20%を担っています。エネルギー輸送分野ではまず、約110隻の油送船が、原油・石油製品・ケミカル・LPGなどを輸送し、世界トップクラスにランクされています。またLNG船事業では、42隻のプロジェクトに関与し、世界をリードしています。本セグメントは、中・長期契約により確定している収益の割合が高いことが特徴となっています。</p>	 <p>50%</p> <ul style="list-style-type: none"> ドライバルク 23% 油送船 11% 自動車船 11% LNG船 5%
<p>2003年6月、「物流事業室」を「ロジスティクス事業部」に改編し、グループ全体のロジスティクス事業にかかわる事業戦略の立案推進を担う本社機能を集約・強化しました。これによって当社事業セグメント間のシナジー効果を最大化することが可能になりました。当社グループのロジスティクス会社は、MOL Logisticsのブランドのもとに統一され、中国における航空貨物やコンソリデーション事業の強化など、事業の拡大に向けた様々な活動を行っています。</p>	 <p>5%</p>
<p>当社の広範囲な国内輸送ネットワークは、統合等によって収益性を回復し、多様で高度な輸送サービスを提供しています。30ノットの高速貨物フェリーの運航や、共同配船によるRORO船サービスの開始などがその例です。当グループのサービスは、地球環境保全を目的とする日本政府の「モーダルシフト政策」のモデルとしても、注目を集めています。</p>	 <p>4%</p>
<p>当セグメントには、「にっぽん丸」による客船事業、国内有数の規模を有する曳船事業のほか、マリンコンサルティング・不動産・人材派遣業・商社などが含まれます。そのほとんどが、海運業に関連した分野を中心とした事業を展開しています。</p>	 <p>5%</p>
<p>当セグメントには、船員配乗、船舶管理、ファイナンス、システム開発などの事業を営む会社が含まれ、主として当社グループの管理部門業務を提供しています。</p>	 <p>1%</p>